

# 2020 年 4 月 1 日～2021 年 6 月 30 日の間に COVID-19 と診断され当院において精神科コンサルテーションを受 けられた方及びご家族の方へ

## —「川崎医科大学総合医療センターにおける COVID-19 入院患者の精神科コンサルテーシ ョンの実態調査」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学精神科学教室 講師 和迎健太  
研究分担者 川崎医科大学精神科学教室 臨床助教 北野絵莉子  
川崎医科大学精神科学教室 臨床助教 山本和明  
川崎医科大学総合医療センター 患者診療支援センター 藤原美保

### 1. 研究の概要

2020 年になり COVID-19 の世界的感染拡大が問題になっています。COVID-19 感染により肺炎などの身体的な問題だけではなく、それに伴って精神的な問題も生じることが分かっています。そこで COVID-19 で入院した患者さんの気持ちの支援を行うために 2020 年 4 月に「COVID-19 こころのケアサポートチーム」を発足し、COVID-19 で入院された方に気持ちの落ち込みや不眠、一時的な混乱や幻覚・妄想などを認めた際の相談と対応をおこなってきました。チーム発足から 1 年が経ち、どのような相談があったか、治療をおこなったかを診療録の記録から評価したいと考えました。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2020 年 4 月 1 日～2021 年 6 月 30 日の間に川崎医科大学総合医療センター(以下、当院)に COVID-19 感染症にて入院し、「COVID-19 こころのケアサポートチーム」による治療を受けられた方を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2021 年 12 月 31 日

#### 3) 研究方法

2020 年 4 月 1 日～2021 年 6 月 30 日の間に COVID-19 感染症にて当院に入院し、「COVID-19 こころのケアサポートチーム」による治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに受診時点の精神科に関する臨床情報を選び、診断や治療に関する分析を行い、COVID-19 入院患者さんの精神症状の出現の特徴について調べます。

#### 4) 使用する情報の種類

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなた

の氏名、生年月日など直ちに個人を特定できる情報は削除し、匿名化して、情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

情報：年齢、性別、主症状、身体重症度、主診断 等

#### 5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学精神科学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021 年 9 月 30 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 心療科

氏名：和迎 健太

電話：086-225-2111（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

ファックス：086-232-8343

#### 3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。